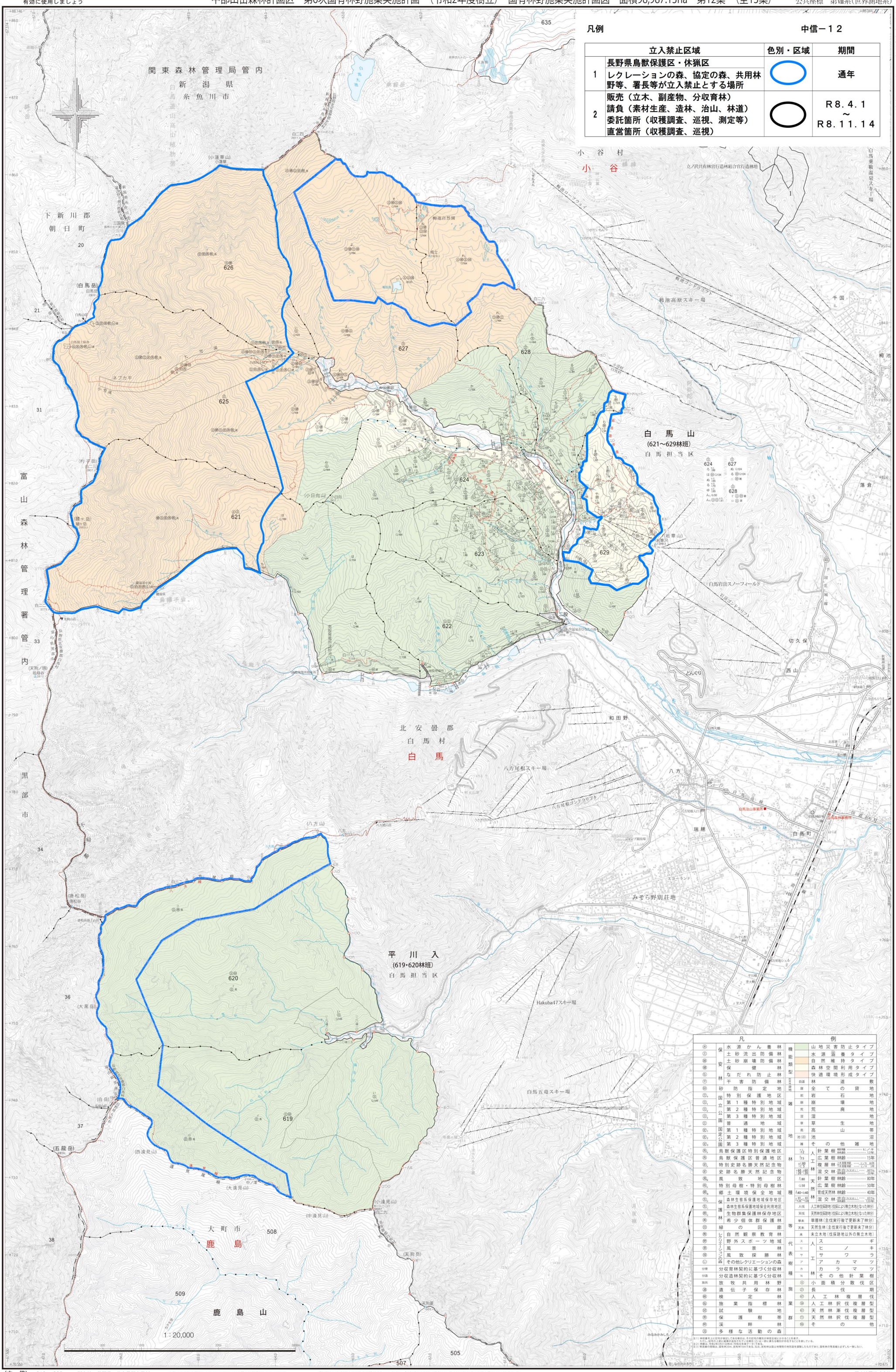
信濃川広域流域　中部山岳森林計画区

凡例　　中信－１２

	立入禁止区域	色別・区域	期間
1	長野県鳥獣保護区・休猟区 レクレーションの森、協定の森、共用林野等、署長等が立入禁止とする場所		通年
2	販売（立木、副産物、分収育林） 請負（素材生産、造林、治山、林道） 委託箇所（収穫調査、巡視、測定等） 直営箇所（収穫調査、巡視）		R８．４．１ ～ R８．１１．１４



凡例					
㊀	保安林	水源かん養林	機能類型		山地災害防止タイプ
㊁		土砂流出防備林			水源涵養タイプ
㊂		土砂崩壊防備林			自然維持タイプ
㊃		保健林			森林空間利用タイプ
㊄		なだれ防止林			快適環境形成タイプ
㊅		干害防備林	雑地	自道	林道敷
㊆	砂防指定地			貸	全ての貸地
㊇₁	国立公園	特別保護地区		岩	岩石地
㊇₂		第1種特別地域		崩	崩壊地
㊇₃		第2種特別地域		荒	荒廃地
㊇₄		第3種特別地域		湿	湿地
㊇₅		普通地域		草	草生地
㊈₁	国定公園	第1種特別地域		高	高山帯
㊈₂		第2種特別地域		池沼	池沼
㊈₃		第3種特別地域		雑	その他雑地
㊉₁	鳥獣保護区特別保護地区		林種等	人工林	針葉樹 樹種……ヒノキ 林齢……12年
㊉₂	鳥獣保護区普通地区				広葉樹 林齢……15年
㊉₃	特別史跡名勝天然記念物				複層林 上層樹種……ヒノキ 下層樹種……ヒノキ
㊉₄	史跡名勝天然記念物				混交林 樹冠(本数比)……40%以上 林齢……20年
㊉₅	風致地区			天然林	針葉樹 林齢……80年
㊉₆	特別母樹・特別母樹林				広葉樹 林齢……50年
㊉₇	郷土環境保全地域				育成天然林 林齢……40年
㊉₈	保護林	森林生態系保護地域保存地区			混交林 樹冠(本数比)……85%以上 林齢……120年
㊉₉		森林生態系保護地域保全利用地区		人伐	人工林伐採跡地(伐採により無立木地となった林分)
㊉₁₀		生物群集保護林保存地区		天伐	天然林伐採跡地(伐採により無立木地となった林分)
㊉₁₁		希少個体群保護林		単未	単層林(主伐実行後で更新未了林分)
㊉₁₂		緑の回廊		天未	天然生林(主伐実行後で更新未了林分)
㊉₁₃	レクリエーションの森	自然観察教育林		未	未立木地(伐採跡地以外の無立木地)
㊉₁₄		野外スポーツ地域	代表樹種	人工林	スギ
㊉₁₅		風景林			ヒノキ
㊉₁₆		風致探勝林			サワラ
㊉₁₇		その他レクリエーションの森			アカマツ
分育	分収育林契約に基づく分収林				カラマツ
分造	分収造林契約に基づく分収林				その他針葉樹
放共	放牧共用林野		施業群	⑥	小面積分散伐区
㊉₁₈	遺伝子保存林			㊷	長伐期
㊉₁₉	検定林			㊷	人工林複層伐
㊉₂₀	施業指標林			㊾	人工林択伐複層型
㊉₂₁	試験地			㊸	天然林漸伐複層型
㊉₂₂	保護樹帯			㊷	天然林択伐複層型
㊉₂₃	渓畔林			㊾	その他
㊉₂₄	多様な活動の森				

注1）林班番号上に記号が表記してある場合は、その記号の種別が林班全域にかかることを表す。
ただし、記号のみ表記し林種や区域名が記されていない場合（）は一部に異なる種別が存在することを表している。
注2）林班は、令和2年1月1日時点（令和元年度末）である。
注3）等高線の間隔は、国有林20m、民有林10mである。なお、民有林は国土地理院の地形図を調製したものであり、国有林の等高線と必ずしも一致しない。